

<様式1> 管理運営状況評価書

【対象年度:平成27年度】

(①歴史・文化施設)

I 施設概要・利用情報

(単位:人、%、円、日)

施設名		掛川市茶室			担当課名	文化振興課		
区分		内容・説明						
1 施設及び指定管理者の状況	(1)設置条例名		掛川市茶室条例					
	(2)施設設置目的		茶道文化の普及及び伝承並びに市民文化の向上を図る。					
	(3)施設が有する設備、機能の概要		茶室:建築面積202.9㎡、広間、小間、立礼席の3茶室がある。					
	(4)施設建設年度		平成13年度					
	(5)耐震性能の有無		有					
	(6)将来予想される改修経費 (想定年度と費用見込み)							
	(7)指定管理者名		掛川城管理運営共同体					
	(8)指定期間		平成26年4月1日 から 平成36年3月31日 まで					
	(9)施設の管理運営形態		③指定管理料+利用料金併用制度					
	(10)自主事業の有無		☒ 実施あり ☐ 実施なし ※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。					
(11)その他事業の有無		☐ 実施あり ☒ 実施なし ※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。						
(12)事業報告書提出の有無		☒ 提出あり(地自法第244条の2第7項による提出義務) ☐ 提出なし						
(13)利用者満足度調査等実施の有無		☒ 実施あり ☐ 実施なし ※実施ありの場合、(直近の実施年度 平成27年度)						
区分		H25実績	H26実績	H27実績	H27当初	備考		
2 利用状況	(1)施設利用者数	(目標値)	-	城・茶室・竹の丸の全体で150,000	城・茶室・竹の丸の全体で150,000	城・茶室・竹の丸の全体で167,000	※協定書に記載した要求水準値を記入してください。	
		(実績値)	15,082	14,869	17,639			
	内訳 (施設・設備ごと)	入館者	13,082	13,658	16,589			
		使用者	2,000	1,211	1,050			
	(2)稼働率(利用率)						↓ 備考欄に算定式を記入してください ↓	
	(施設・設備)	A平日昼間			100.0%		入館日数(242日)／開館日数(242日)	
		B平日夜間			-			
		C土日祝昼間			100.0%		入館日数(123日)／開館日数(123日)	
		D土日祝夜間			-			
	区分		H25実績	H26実績	H27実績	H28当初	備考	
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名		(公財)掛川市生涯学習振興公社				※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入	
	(2)利用者一人当たりの運営経費		547					
	(3)運営日数		347	361	362	362		
	(4)運営人員	①正規職員	0.0	0.0	0.0	0.0	※指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理施設で働いている実人数を記入してください。	
		②臨時職員	6.0	5.0	5.0	6.0		

Ⅱ 施設管理に係るコスト情報

(単位:円、%)

区分		H25決算額	H26決算額	H27決算額	H28当初予算額	備考
(1)運営コスト(A)	①人件費	7,517,372				H26より、掛川城と茶室を合わせて掛川城へ一括計上
	②印刷費	0				
	③通信費	139,151				
	④事務用品、旅費、図書費など	1,295				
	⑤借上料	131,040				
	⑥保険料、消費税(租税公課)等	376,917				
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	81,450				
	計	8,247,225	0	0	0	
	対前年度増減率					
区分		H25決算額	H26決算額	H27決算額	H28当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	①管理委託費(外注費)	4,618,509	0	0	0	
	警備保障	317,520				
	空調機保守点検	182,700				
	庭園維持管理	3,675,000				
	浄化槽維持管理点検	112,980				
	清掃	330,309				
	②修繕費	243,831				
	③光熱水費	839,286				
	④燃料費	0				
	⑤清掃費	0				
	⑥保守点検費	0				
	⑦その他(施設消耗品)	2,934,624				
	計	8,636,250	0	0	0	
	対前年度増減率					
(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A)+(B)		16,883,475	0	0	0	
(4)合計のうち運営コストの割合		48.8				
(5)施設の収入 ※1)下記3)に inputs		5,067,500	0	0		
(6)運営コストのうち利用料収入の割合		61.4				

Ⅲ 収支差額の状況 注【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	H25決算額	H26決算額	H27決算額	備考
a) 施設使用料収入	5,067,500			※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料	16,800,000			
収支差額 a)－b)	△ 11,732,500			

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	H25決算額	H26決算額	H27決算額	備考
a) 施設利用料金収入				※施設利用料金は、指定管理者(掛川城へ一括計上)へ収入される
b) 収支差額(a－トータルコスト)				
c) b)に対する市の支出額(指定管理料)				

(3)自主事業及び指定事業・その他事業の状況

(単位:円)

区分	H25決算額	H26決算額	H27決算額	備考
a) 自主事業の収入	656,650			
b) 自主事業の支出	599,192			
収支差額 a)－b)	57,458	0	0	
c) その他事業の収入				
d) その他事業の支出				
収支差額 c)－d)	0	0	0	

Ⅳ 担当課による評価

(1)施設設置目的の達成度

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	設置目的を達成できている		2
2	設置目的をほぼ達成できている。		
1	設置目的を一部達成できていない。		
0	設置目的を達成できていない。		

(2)協定書に記載した業務要求水準の達成度 <達成 3点、未達成 0点>

評価項目	要求水準	実績	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
A 施設全体の満足度	90%	97	3	引き続き高水準を保てるようにアンケートを参考にして利用者の意見を反映させていく
B サービス内容の満足度	90%	98	3	引き続き高水準を保てるようにアンケートを参考にして利用者の意見を反映させていく
C 従業員対応の満足度	90%	97	3	引き続き高水準を保てるようにアンケートを参考にして利用者の意見を反映させていく
D 施設安全対策の満足度	90%	97	3	引き続き高水準を保てるようにアンケートを参考にして利用者の意見を反映させていく
E 美観・清潔感の満足度	90%	98	3	引き続き高水準を保てるようにアンケートを参考にして利用者の意見を反映させていく
F 施設の利用者数	150,000人	159,357人	3	平成32年度に施設利用者200, 000人

※協定書の業務要求水準及び実績を記載し、評価については要求水準に達していれば3、達していなければ0としてください。

(3)収支の改善状況

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	黒字である。		3
2	収支均衡している。／前年度より収支差額が縮小(改善)している。		
1	赤字である。／前年度と同等の収支差額である。		
0	大幅な赤字である。／前年度より収支差額(赤字)が増えている。		

(4)安全対策・危機管理体制など

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	利用者の安全対策や危機管理体制は万全である。		3
2	万全とは言えないが、事故等が発生する確率は低い。		
1	安全対策・危機管理体制は整っているが、昨年度事故等が発生している。		
0	利用者の安全対策や危機管理体制に不備があり、改善が必要である。		

(5)本施設(事業)の継続性と行政の関与について

点数	評価基準	評価 <
----	------	---

(6)総合評価

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	本施設の指定管理者として、特に優れている。最適である。		2
2	本施設の指定管理者として、問題はなく適当である。		
1	本施設の指定管理者として、やや劣っている。改善を要する。		
0	本施設の指定管理者として、著しく劣る。適当でない。		

合計	31	／33
----	----	-----

Ⅴ その他自由意見